

# 平成23年度 南魚沼郡市教育振興会小学校算数部 活動記録

## 【研究部の組織】

○ 部長	鬼木 英幸	(神立小学校)		
○ 副部長	杉田 健一	(栃窪小学校)		
○ 幹事(評議員)	石田 義雄	(三俣小学校)		
○ 推進委員	斎藤 雅史	(土樽小学校)	藤原裕子	(五十沢小学校)
	鈴木 春香	(赤石小学校)	大関みどり	(上関小学校)

## 1 研究主題と設定の理由

(1) 研究主題 「学ぶ楽しさや有用感をはぐくむ算数指導の工夫」

(2) 主題設定の理由

算数指導では、繰り返し学習や意味理解を大切にした指導など、様々な工夫をして基礎・基本の定着を図ってきている。しかし、児童の様子をみると、「算数は先生が出した問題を解く勉強」「答えさえ分かれば勉強は終わり」など受け身的な意識が見られることもあり、算数を進んで学習したり、活用したりしようとする意欲や態度は十分には育っていない面がある。これらの実態の一因として、学習課題に対して「どうしてかな」「解いてみたい」という思いを引き出せないこと、与えられた問題を解くだけの学習形態が多いこと、実生活とかかわりのある問題を自ら解決する体験の少ないことなどが考えられる。いつでも与えられた問題を解くだけでは解決の必要性や解決できた満足感を感じにくい。

学習内容と自分とのかかわりや実感を伴って「分かった」という満足感、「これからも使えそうだ」という期待や学習内容の有用性などを児童一人一人が感じられること、すなわち、児童が算数を学ぶよさを味わえる指導の工夫に努めることが大切であると考え、本主題を設定した。

## 2 研究推進の概要

(1) 平成23年度の研究推進計画の立案 <全員参加>

- ① ア 期 日 5月6日(金)
- イ 会 場 六日町中学校
- ウ 内 容 研究部の組織、研究主題、研究推進計画の大綱の検討

(2) 学習指導センターとの共催研修への参加 <3回のうち、1回参加>

- ① ア 期 日 9月7日(水)
- イ 会 場 六日町小学校
- ウ 授業者 山口 裕司 先生
- エ 単 元 第6学年 「速さ」
- ② ア 期 日 9月28日(水)
- イ 会 場 五日町小学校
- ウ 授業者 武藤 雅文 先生
- エ 単 元 第2学年 「かさ」
- ③ ア 期 日 11月11日(金)
- イ 会 場 浦佐小学校
- ウ 授業者 山口 陽子 先生
- エ 単 元

(3) 算数主任必修講座への参加 <各学校1名参加>

- ア 期 日 7月29日(金)
- イ 会 場 北辰小学校
- ウ 指導者 中越教育事務所 指導主事 宮嶋 博 先生
- エ 内 容 小・中学校 算数・数学科 学力向上

### 3 研究の成果

#### (1) 学習指導センターとの共催研修

共催の授業研修では、2年生の「量と測定」、6年生の「量と測定」「図形」の領域が公開された。それぞれに工夫された実践であった。その内容は次のとおりであり、課題や発問の工夫、図・式・言葉による算数的活動の工夫、友達同士のかかわりや全体での練り上げ等、参加者にとって学ぶ点が多かった。また、長尾昭浩先生の的確な指導により、研修内容を深めることができた。

○六日町小学校：山口裕司先生

・単元 第6学年 「速さ」

・指導の工夫

◇イメージ化を図るための課題提示の工夫

問題場面を頭の中でイメージさせ、二量の関係について押さえさせるため視聴覚機器を利用した。道のりも異なる時間も異なる短距離走の様子を見せ、どうしたら比較できるか話し合わせた。

◇思考を促す学習形態

ペアやグループで気付きを共有できるよう、答えに至る過程を言葉や式、図などに表現させ、自分の考えを出張させていった。

○五日町小学校：武藤雅文先生

・単元 第2学年 「かさ」

・指導の工夫

◇かさくらべの操作活動の設定

測定する活動の中で、量感覚や量そのものを一人一人が取り出す作業を大切にしていた。

◇学んだことを使って考える経験の共有

dlを先に学び、その10個分の積み上げが1Lになるという感覚を大切に指導を進めた。

○浦佐小学校：山口陽子先生

・単元 第6学年 「拡大図と縮図」 少人数指導

・指導の工夫

◇必然性をもたせた「かかわり合い」を行うための工夫

少し難しい課題を設定するとともに、2つ目の課題を提示して意欲をさらに高めていた。

◇かかわりの場において互いの考えを深めさせるための手立ての工夫

自分の考えを図や文で伝えたり、相手の考えを記録したりして考えをより明確にさせていた。

共催研修については、この他、北辰小学校で開催された次の研修会にも多くの部員が参加することができた。新学習指導要領の全面実施に向けて、多様な面から研修を深める機会を得ることができた。

・6月22日(木)【「なぜ？」を引き出す導入課題と提示の仕方】<指導者：指導主事 長尾昭浩 先生>

・8月23日(火)【Web配信集計システムを効果的に活用するために】

<指導者：長岡市立神田小学校教諭 永井 茂 先生>

・2月17日(金)【算数座談会】

<指導者：佐渡市立二宮小学校長 若月典明 先生>

#### (2) 算数主任必修講座

新学習指導要領に対応した授業や、国や県が求めている授業をどうつくればよいのか、中越教育事務所の宮嶋指導主事から指導いただいた。その後、中学校区単位で学力実態と課題を共通理解し、小中が連携して算数・数学の学力を高める取組を話し合った。

### 4 反省と今後の課題

学習指導センターとの共催研修では、公開授業を通しての協議や演習など、新学習指導要領の改善点を踏まえた指導方法について理解を深めることができた。参加した会員一人一人が、研修会で学んだことを校内で広げ、実践に結び付けていくことが課題である。また、各学校での取組状況や成果・課題を情報交換し合う場面をより一層設定していくことで、郡市全体の指導力の向上を図っていきたい。